

新たな 18G 全血採血針

松崎 浩史¹⁾²⁾ 國井 典子¹⁾³⁾ 塚田 克史¹⁾⁴⁾ 安河内真理¹⁾ 荒木あゆみ¹⁾
紀野 修¹⁾⁴⁾

- 1) 日本赤十字社血液事業本部
- 2) 福岡県赤十字血液センター
- 3) 東京都赤十字血液センター
- 4) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター

キーワード：全血献血，採血針

献血に使用する採血バッグは日本工業規格 (JIS) の基準に準拠して製造されており，付属する採血針にも流量に一定の基準がある¹⁾。日本赤十字社では，これまで全血採血針として 17Gauge (G) 針を使用してきたが，献血者への侵襲の低減化を目的に，2016 年 11 月に世界で初めて 18G 針を採用した。

新たな 18G 全血採血針の形状は，成分採血針と同じで先端にはバックアイと呼ばれる側孔がある。また，針の全長は旧 17G 針よりも 5mm 短い (図)。400ml 採血に要する時間を献血者で比較すると，新 18G 針 (1,516 人) で 6.7 ± 2.9 分，旧 17G 針 (1,024 人) で 6.8 ± 3.3 分と両者に差は無く，血管径が細いと看護師が判断した場合の採血時間は，新 18G 針で 6.8 ± 2.8 分，旧 17G 針で 10.5 ± 5.0 分と新 18G 針で有意に短かった²⁾。

厚生労働省は献血推進に係る新たな中期目標として若年層献血者と複数回献血者の増加を掲げている³⁾。献血者の減少が続くなか，新たな 18G 針は採血困難な献血者からの採血時間を適正化するだけでなく，人々の「献血の針は太い」というイメージを払拭し，採血針による皮膚の癬痕形成を軽減することが期待される。

著者の COI 開示：著者はすべて日本赤十字社職員である

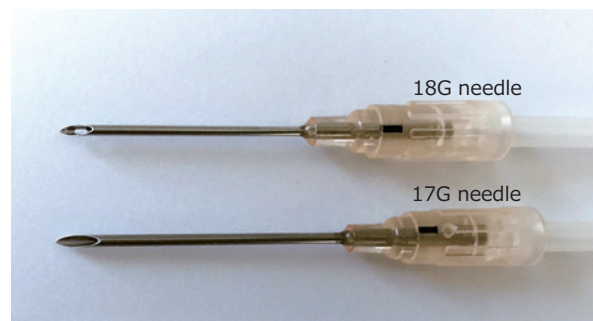


図 Top: The newly developed 18G needle has a small side-hole (back-eye) at the tip of the needle. Bottom: The previous type of 17G needle is longer than the 18G needle.

文 献

- 1) 日本工業規格 JIS T 3217 : 2011 血液成分分離バッグ. <http://kikakurui.com/t3/T3217-2016-01.html> (2018 年 8 月現在).
- 2) 森内里佳, 田中富美子, 田代千穂, 他 : 川澄社製全血採血針 18G の有用性の検証. 血液事業, 40 : 408, 2017.
- 3) 厚生労働省ホームページ : 献血推進に係る新たな中期目標～献血推進 2020～. <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000070049.html> (2018 年 8 月現在).

A NOVEL EIGHTEEN GAUGE WHOLE BLOOD COLLECTION NEEDLE

*Koji Matsuzaki*¹⁾²⁾, *Noriko Kunii*¹⁾³⁾, *Katsushi Tsukada*¹⁾⁴⁾, *Mari Yasukochi*¹⁾, *Ayumi Araki*¹⁾
*and Shuichi Kino*¹⁾⁴⁾

¹⁾Japanese Red Cross Society Blood Service Headquarters

²⁾Fukuoka Red Cross Blood Center

³⁾Japanese Red Cross Tokyo Metropolitan Blood Center

⁴⁾Japanese Red Cross Hokkaido Block Blood Center

Keywords:

Whole blood donation, blood collection needle

©2018 The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy
Journal Web Site: <http://yuketsu.jstmct.or.jp/>